

称号及び氏名 博士(看護学) 勝山 愛

学位授与の日付 令和3年3月31日

論文名 新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントの関連要因の検討
Study on Related Factors of Engagement in Learning
Activities for Newly Graduated Nurses

論文審査委員 主査 細田 泰子
副査 篠持 知恵子
副査 長畑 多代

論文内容の要旨

【目的】 学習活動におけるエンゲージメントは、看護実践における課題に没頭して取り組んでいる心理状態と興味や楽しさを感じながら課題に注意を向けて努力する取り組みや自ら働きかける意図的な取り組みである。新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度を開発し、学習活動におけるエンゲージメントの関連要因について明らかにすることである。

【概念枠組み】 文献的考察に基づき、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントに基本的心理欲求と成人キャリア成熟が影響を及ぼすという概念枠組みを構築した。

【予備研究1】 新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントに関する内容の抽出

方法： 新人看護師16名を対象として、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントについて半構成的面接法を用いてデータを収集し、質的帰納的に分析した。

結果： 新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントとして、427のコードから84のサブカテゴリー、27のカテゴリー、4つの大カテゴリー【行動的側面】【感情的側面】【認知的側面】【能動的側面】が抽出された。

【予備研究2】 項目の尺度化および専門家会議による尺度原案の検討

方法： 尺度化した新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度原案の表面妥

当性と内容妥当性を検討するために、看護教育学の研究者で、臨床経験5年以上、臨床における新人看護師教育の経験があり、修士以上の学位をもつ者5名を対象に専門家会議を行った。

結果：各概念と尺度項目の整合性、順序性、表現の明確性、回答のしやすさについて検討し、修正・精選を行い、尺度項目は84項目から72項目となった。

【本研究1】新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度の内容妥当性指数 (Item-content validity index : I-CVI)の検討

方法：看護教育学の研究者で、臨床経験5年以上、臨床における新人看護師教育の経験があり、修士以上の学位をもつ者5名および臨床経験5年以上、新人看護師教育に携わっている者5名の計10名を対象に、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度原案の72項目について質問紙調査を実施し、I-CVIを算出した。

結果：I-CVIが0.78未満を示した23項目は削除し、49項目を新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度原案として採用した。

【本研究2】新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度の信頼性・妥当性の検討

方法：全国の一般病床数200床以上の医療施設に勤務する新人看護師1,405名を対象に、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度原案、ワーク・エンゲージメント尺度、看護教育用自己決定型学習準備性尺度、個人属性からなる質問紙調査を実施した。信頼性は、内的一貫性(Cronbach's α 係数)、安定性(再テスト法)、妥当性は構成概念妥当性(探索的因子分析、確認的因子分析)、基準関連妥当性(外的基準との相関)を確認した。

結果：299名(回収率21.2%)から回答が得られ、欠損値を含むデータを対象外とし、290名(有効回答率20.6%)を分析対象とした。項目分析、探索的因子分析により、【行動的側面】

【感情的側面】【自律的側面】【認知的側面】の4因子21項目が抽出された。Cronbach's α 係数は0.712~0.839であった。確認的因子分析の結果、適合度指数は許容範囲内であった。ワーク・エンゲージメント尺度との相関は $r=0.454$ 、看護教育用自己決定型学習準備性尺度との相関は $r=0.393$ を示した。再テスト法による級内相関係数は $r=0.450$ ~0.716であった。

【本研究3】新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントの関連要因の検討

方法：全国の一般病床数200床以上の医療施設に勤務する新人看護師1,473名（本研究2とは重複しない）を対象とし、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度、基本的心理欲求尺度、成人キャリア成熟尺度、個人属性からなる質問紙調査を実施した。概念枠組みに従い、＜基本的心理欲求＞＜成人キャリア成熟＞を観測変数とし、それぞれの尺度合計得点を投入した。潜在変数〔学習活動におけるエンゲージメント〕の観測変数に＜行動的側面＞＜感情的側面＞＜自律的側面＞＜認知的側面＞を投入し、MIMICモデル(Multiple Indicator Multiple Cause Model)を用いて共分散構造分析を行った。

結果：492名(回収率33.4%)から回答が得られ、欠損値を含むデータを対象外とし、405名(有効回答率27.5%)を分析対象とした。分析の結果、RMSEAが基準値を超えていたため、修正指数を参考に＜基本的心理欲求＞と＜成人キャリア成熟＞に共分散を設定し、再分析を行った。再分析の結果、モデルの適合度はGFI=0.988、AGFI=0.967、CFI=0.989、RMSEA=0.046であった。＜基本的心理欲求＞から〔学習活動におけるエンゲージメント〕へのパス係数は0.29、＜成人キャリア成熟＞から〔学習活動におけるエンゲージメント〕へのパス係数は0.32、決定係数は0.26を示した。探索的に個人属性による新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントの比較を行った結果、有意な差はなかった。

【倫理的配慮】 大阪府立大学大学院看護学研究科研究倫理委員会の承認を受けて行った。

【考察】 開発した新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度は、信頼性・妥当性を確保しているものと考えられる。本尺度は、新人看護師の学習活動への取り組みの質を活動面と心理面から統合的に評価できる尺度となった。新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントは、基本的心理欲求と成人キャリア成熟に影響を受けていることが確認された。基本的心理欲求の充足支援やキャリア支援を行うことで、学習活動におけるエンゲージメントにつながると考える。

キーワード：新人看護師、学習活動、エンゲージメント、尺度開発

Key words: newly graduated nurse, learning activities, engagement, and scale development

学位論文審査結果の要旨

本研究は、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度を開発し、学習活動におけるエンゲージメントの関連要因を明らかにすることを目的としている。成人学習者である新人看護師の学習は、実践によってもたらされる思考、価値観、態度の持続的変化が期待される。学習活動におけるエンゲージメントは、課題に没頭して取り組んでいる心理状態と興味や楽しさを感じながら課題に注意を向けて努力する取り組みや自ら働きかける意図的な取り組みである。本研究は新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントに焦点をあて、定量的に測る尺度を開発し、基本的心理欲求やキャリア成熟との関連を検討した独創的な研究である。

新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント測定尺度の開発では、新人看護師の半構成的面接法による質的分析をもとに尺度項目を作成し、看護教育学の研究者を対象とした専門家会議および臨床経験5年以上、新人看護師教育の経験がある看護師・研究者10名を対象に内容妥当性指数の算出を行い、尺度項目の表面妥当性と内容妥当性を検討した。一般病床数200床以上の58医療施設に所属する新人看護師に質問紙調査を実施し、有効回答が得られた290名を対象に項目分析、探索的因子分析と確認的因子分析を行った結果、【行動的側面】【感情的側面】【自律的側面】【認知的側面】の4因子21項目から構成され、内的一貫性と安定性による信頼性、構成概念妥当性、基準関連妥当性を有する尺度であることが確認された。本尺度は尺度開発のプロセスに沿って開発したもので、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントを測定することが可能な尺度であることが示された。さらに、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントの関連要因を検討するため、一般病床数200床以上の76医療施設に所属する新人看護師に質問紙調査を行い、有効回答が得られた405名を対象とし、本研究の概念枠組みに基づく共分散構造分析を行った。その結果、新人看護師の学習活動におけるエンゲージメントは、基本的心理欲求と成人キャリア成熟に影響を受けていることが確認された。本研究の遂行において、倫理的配慮を十分に行ったことが確認された。本研究は、新人看護師の学習活動に資する新たな知見を提供し、看護学の発展に寄与するものであると考える。

以上のことから、本研究は博士論文としての学術的価値を有しており、博士（看護学）の学位の授与に値するものと判断した。